

### 第3回鳥栖市市庁舎整備基本計画策定委員会議事録

と き：平成29年10月27日（金）9時～

ところ：鳥栖市役所2階第1会議室

#### 1. 開会

#### 2. 建設候補地について

（事務局）

建設候補地についての説明（資料「評価基準説明資料」、「建設候補地の評価・比較」、「建設候補地の評価・比較（A3版）」）

（古川委員）

評価基準説明資料のp.4の9）敷地条件について、鳥栖スタジアム第4駐車場において、立体駐車場が必要であることから、庁舎建物の位置が制限されるのではないかと思います。

また、現庁舎敷地に建てるのであれば、以前は、現在の駐車場部分に建てたら良いだろうと思っていたが、駐車場を建物の裏に配置してしまうと犯罪の温床になってしまうのではないかと懸念事項がある。そのことから、大通りから見て手前をオープンに駐車場として、奥に建物を配置するのが良いのではないかと思います。バス停については、お年寄りなどの利便性を考え、建物の近くとなる奥に引き込むのがいいのではないかと考える。

（事務局）

ご意見一点目の鳥栖スタジアム第4駐車場の評価について、ご指摘の通り、一部制限されるとして○で評価したいと思う。それに伴い、鳥栖スタジアム第4駐車場の全体の評価をBに修正する。

また、二点目のバス停、建物等の位置については大きな検討課題として捉えており、今後の検討の中で機能、課題等においてもご意見いただきたいと思う。

（井上委員）

評価・比較（A3版）資料に示される評価項目について、1）～5）が敷地の立地に関する項目、6）～10）が敷地の広さに関する項目であると思うが、その2項目で分けられないのか。

（事務局）

評価の基準になるものが重複しているのではないかとのご意見は、前回委員会でも伺っておりごもっともだと認識しているが、今回はどのような視点から評価したのかという「評価の視点」を重要視した形で評価を行い、結果を示している。

（三島委員長）

市の建設候補地に関する検討結果について、委員の皆様はご異論等ないか。

（委員）

異論なし

（三島委員長）

では、建設候補地に関しては、現庁舎敷地が最も適切であるという報告であったとして、今後の議論においてはこの方向で進めていただきたいと思う。

### 3. 必要機能・規模について ほか

(事務局)

必要機能についての説明（資料「鳥栖市市庁舎整備基本計画策定検討資料」）

p.2 委員会フローで、12月に4回目の委員会を開催予定だったが、内容を検討する上で時間的に短いこともあり、11月に必要機能部分についての議論をする場を追加で設けさせてもらえないか。11月に4回目を開催し、12月に5回目開催というスケジュールで進めていきたいと考えている。

(三島委員長)

委員の皆様は、11月に追加で委員会を開催してもよろしいか。

(委員)

異議なし

(三島委員長)

異議なしとのことなので、事務局には説明の続きをお願いしたい。

(事務局)

必要機能についての説明（資料「鳥栖市市庁舎整備基本計画策定検討資料」 p.3～、「唐津市新庁舎建設基本計画（機能部分抜粋）」）

(三島委員長)

基本理念の下に基本方針がぶら下がる形で提案されているが、委員の皆様はこれでよろしいか。

(芹田委員)

資料 p.4 に5つの基本方針が縦並びで示されているが、上にある方針の方により重みがあるということなのか。もし重み付けがなされているのであれば、「防災拠点となる安全な庁舎」ではなく、「誰もが利用しやすい庁舎」が一番上に来るのではと思う。

(事務局)

5つの基本方針について、それらの重み付けは無く、全て同列と考えている。示し方（見た目）については、ご指摘の通り順位があるように受け取れる形となっているため、表記の方法に関してご意見等を頂き、検討させていただきたい。

(三島委員長)

基本理念で「安全・安心」との言葉があるが、「安心」は5つの方針の中で具体的にどこに反映されているのか。全体的に反映されていると考えれば良いのか。

(事務局)

はい。全体的に反映しているとの認識で問題ありません。

(三島委員長)

関連して、最近「危機管理」の考え方が多様化しており、危機管理の観点は基本方針1だけにはおさまらないのではないかと思う。様々な危機管理の内容をどこにどのように含めるべきかは、難しい検討事項だと思う。

(事務局)

現段階では、危機管理については基本方針1の中で言及することを考えている。今後、具体的な方策を考えていく中で、必要であれば盛り込んでいくべきだと考えている。

(三島委員長)

セキュリティについてはどのように考えているのか。

(事務局)

危機管理の意味合いについては、防災面だけでなく日ごろの人の出入りや情報の取扱等幅広くあると考えている。今回示したものは、市役所としてどのような設備が必要なのかという視点から検討したもので、主にセキュリティと防災対応の意味合いが強い。

(井上委員)

耐震性の不足が原因で建て替えの方針が決まったと思うので、防災を基本理念で前面に出す方が良いのではないかと。

(事務局)

確かに耐震性の不足が新庁舎建設の発端ではあるが、基本理念において前面に出すのはどうかと考えたため直接的な表現としていない。また、防災面だけでなく市民が利用しやすい庁舎を目指すこともあり、基本理念の「安全・安心」という部分に防災面及び市民の集まりやすさの意味合いを集約している。

(三島委員長)

サイバー攻撃や他国との関係等、危機管理上の問題はたくさんある。それらを網羅するような形になるよう検討していただきたいと思う。

(齋藤委員)

今後計画に示した以外の方策が出てきた場合は、示していないからという理由で基本設計等に反映されないということはないのか。

(事務局)

今ご意見いただければ、それについては計画の中に書き込んでいきたいと考えている。また、その後の基本設計段階において、計画に書いてないから実施しないということはないと考えている。ただし、示した全ての方策を実現できるかは現段階では分からず、実現できないものの中にはあるかもしれない。

(古川委員)

近年は自然災害が多く、そのことから防災が前面に出てきていると思う。それに加えて、長く使われる庁舎施設として、50年先を見据えた庁舎づくりを進めていくべきだと思うため、その観点についても検討を進め、盛り込んでいただきたい。

(三島委員長)

必要機能・方策で追加意見が出た場合、柔軟に対応し、盛り込んでいただくことをお願いしたい。

それでは必要機能・規模について、ご意見をお願いしたい。

(齋藤委員)

規模に関しては、検討当初に十分だと思える面積を確保しても結局狭くなってくる。いろんな評価を持って検討されているが、更に将来を見据えて真剣に議論していく必要があると思う。

(三島委員長)

遠い将来を見据えての議論はなかなか難しいかもしれない。少し近い将来を見据えた中で、何かご指摘等あればお願いしたい。

(芹田委員)

お示しいただいた機能の項目の中に、外国の方に対する内容が全く言及されていないと思う。少子化が進んでいく中で、外国の方に来ていただいたときのことを想定していれば、現在の人口以外に外国籍の人口が増えるかもしれない。そのあたりに関する事で、市で考えていることがあればお聞かせいただきたい。

(事務局)

現庁舎では案内等が不足しており、まずはそういった部分から対応していきたい。また、現段階の計画案では詳細に記載できていないため、計画のユニバーサルデザインの項目の中で、外国の方への対応について示していきたい。

(芹田委員)

事例資料の唐津市について見てみると、障害のある方や子育て世代への対応が前面に出てきているように見える。外国の方への配慮が本市のPRになるかもしれない。

(三島委員長)

資料の中で、子育て支援等についての内容が示されていないと思う。p.9(4)市民が親しみやすい庁舎で新たに機能4をつくり追記する等、検討していただきたい。

(池上委員)

庁舎とは別かもしれないが子育て支援に関連して、市民活動センターでは子育て世代の方から、市の情報がなかなか取れない、市役所へ行くための交通手段がない等の意見をよく耳にする。そのため、出先機関においても市役所で扱うような情報を発信できると良いと思う。また、庁舎においても、別の場所等に行かずに必要な情報が全て受け取れるようなしくみがあれば良いと思う。

(三島委員長)

現在の窓口で、英語、中国語等への対応はされているのか。

(事務局)

資格保有者はいないが、窓口において少しでも話せる職員を配置する等、対応はしている。まだ十分ではないため、案内等も含めて改善していきたい。また、子育て世代に対してもわかりやすいやさしい庁舎を目指したい。

(三島委員長)

検討資料p.6に臨時ヘリポートとあるが、ドクターヘリ対応なのか。

(事務局)

ドクターヘリ及び防災ヘリの両方が利用できるようなものを考えている。

(三島委員長)

庁舎の最上階に設置することを考えているのか。

(事務局)

屋外の広場を利用することを考えている。ストレッチャーを運ぶ廊下幅や収容可能なエレベーター等の設置が必要となってくることからも庁舎最上階への設置は難しいと思う。

(松永委員)

備蓄倉庫の近くに降りられるように配慮していただきたい。

(古川委員)

近年、人件費等コスト削減といわれている中で、そのことについて言及されていないのは良く

ないのではないか。市民に余分な負担をかけさせない、効率的な庁舎を考えていくべきではないかと思う。コスト削減等の文言を追加していただきたい。

(三島委員長)

どのあたりに追加すべきか。

(古川委員)

資料 p.8 の機能 3 効果的な運用のあたりかと思う。

(三島委員長)

資料 p.7 (2) 誰もが利用しやすい庁舎に、市民が親しみやすいという意味をこめて、「明るい庁舎」という内容を入れたい。字を書くときに、全体的に明るいほうが良いのではないかなと思う時もある。1階は暗い感じになりやすいため、明るさをうまい表現で示したい。

(事務局)

そのように検討する。

(三島委員長)

必要機能について、思いついた際には随時ご意見を頂きたいと思う。

続いて、必要規模についての議論に進みたい。

私の方から一点意見を述べさせていただくが、備蓄倉庫やヘリポートを検討されているのであれば、それらを含めて必要となる広場面積を算定しておく必要があると考える。

(事務局)

備蓄倉庫に関しては、市民用・職員用を分けて設けることを考えており、災害対策本部に必要なものは $\alpha$ で設置を考えている。

(古川委員)

駐車場を広く取るのは良いことだが、雨天時の移動に注意が必要だと思う。車寄せや一部屋根付き通路等を設置するなど、配慮が必要になってくると思う。

(松永委員)

備蓄倉庫に関連する話だが、搬出入の経路、緊急車両の動線についても配慮していただきたい。

(三島委員長)

6メートル以上の道路幅が必要だと思う。

(齋藤委員)

通常のものより大きな備蓄倉庫になるのではないか。また、備蓄倉庫は補助金の対象となるのか。対象外となるものについてはつくらないのか、市の考えをお聞かせいただきたい。

(事務局)

H28 から段階的に備蓄を始めており、現段階では小学校の給食室に備蓄を順次進めている。役所はまだ始めているが、地区では進めている状況で、地域全体への物資をまかなえるような量を市役所に備蓄するわけではないため、大きなものは必要ないと考えているが、一定規模の備蓄倉庫は本庁舎に必要であると考えている。

(三島委員長)

全体計画は策定されているのか。

(事務局)

総務課の防災で計画している。

(三島委員長)

自衛隊が入ってくる場所として位置づけられる可能性はあるのか。

(事務局)

大規模災害時については県で定めており、佐賀競馬場が第一集積場となっている。大きなトラックで物資を運び入れる可能性はあるため、敷地内の道路も必要であると認識している。

(三島委員長)

庁舎は緊急避難場所となるのか。

(事務局)

今のところ、指定避難所としては位置づけられていない。

(三島委員長)

将来的にはどのように考えているのか。

(事務局)

災害発生直後で、すぐに避難場所の体制が整わない間など、一時的に避難できる場所としては整備したいと考えている。

(齋藤委員)

補助金は、防災に関するものに対して出るのか。

(事務局)

防災に関する施設にではなく、職員数に対応して起債が算定され、面積としては約1万㎡が起債の対象となる。

(齋藤委員)

他の団体が入る施設はつくらないという話だったと思うが、それはその1万㎡を超えることが原因となっているのか。

(事務局)

本庁舎に入る部署等の基本的な考え方としては、市の執務室、税務署や県の出先機関などのその他官公署、売店、食堂、銀行・ATM等を想定している。第三者機関については、本庁舎に入れることは現段階で考えておらず、その理由としては、起債が職員数から算定されていることもあり、あくまで市役所としてのスペースを確保することを基本的な考え方としているからということである。

(齋藤委員)

起債と自己財源を抱合せすることは可能なのか。

(事務局)

可能である。

(三島委員長)

資料 p.12 に規模が示されているが、先程話に出ていた災害対策機能等も含めた数値なのか。

(事務局)

はい。

(三島委員長)

周りの屋外スペースでのヘリポートや緊急車両が通行可能な道路といった付属機能は、国で定められた駐車場規模算定の方法しかないのか。

(事務局)

起債の対象となるのは本庁舎に関する施設のみである。

(三島委員長)

外構は市の負担となるのか。

(事務局)

例えば倉庫を別棟で建てた場合、それは本庁舎機能を有していないため、記載の対象から外れる。

(三島委員長)

財源を効率的に使うためにも、起債の対象となる項目、付属的な機能を有する施設等を整理する必要がある。

(事務局)

それを含めて全体で 11,000～13,500 m<sup>2</sup>としている。

(古川委員)

従来の庁舎イメージと今回資料で提示しているものが、あまり変わらないように思う。待ち時間の削減や事務処理スピードの効率化などについて見えづらい内容となっている。今後、IT化が確実に進められていくと思うが、そういった先を見据えた内容を記載していく必要があると思う。IT化、機械化等について、もう少し盛り込んでいただきたい。

(事務局)

ご指摘のとおりで、IT化についての内容を追記する方向で進める。

(芹田委員)

世の中の技術が進んでいく中で、例えば今後の申請等手続きの流れが、自宅で準備して庁舎では5分滞在する程度という風に、今とはまた違うようになることも考えられる。他には、市役所待ち時間の間に自分の端末で申請ができるようになるなど、市役所のネットワーク環境を変えることで待ち時間の短縮につながるのではないかと思う。

(三島委員長)

IT化、IoT化等、少し検討していただきたいと思う。

資料 p.14 の敷地条件の整理に関して、用途地域を変更予定であるが、その用途では記載できないのか。

(事務局)

まだ記載できない。用途地域を変更することを想定しながら検討を進めていることは伝えているが、正式に認められ、決定するのは来年になると考えられる。

(三島委員長)

あくまでも現在の敷地概要を表記しており、今後変更されるという認識で良いか。

(事務局)

はい。変更する部分については括弧書きで記載したい。

(齋藤委員)

現庁舎は別館含めて何m<sup>2</sup>なのか。

(事務局)

別館含めて約 9,051 m<sup>2</sup>となっている。

(三島委員長)

他にご意見等が無ければ、事務局にて今後の予定を説明いただきたい。

(事務局)

本日冒頭にもお伝えしたが、次回の委員会は11月30日(木)に開催したいと考えている。時間については委員の皆様にご後お伺いし、時間・場所について改めてご連絡する。

#### 4. 閉会